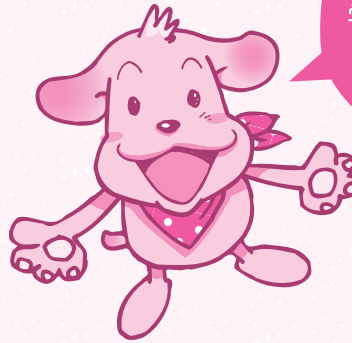




子どものこと 一緒に考えましょう！

保護者のみなさんから
多く寄せられる相談について、
「相談員」と「調査員」の声をまとめました。



電話やメール、LINEなどで
相談を受ける**相談員**、
学校などに対し問題解決のための
調整を行う**調査員**が、日頃の
相談から見える気づきを
お話しします

子どもがスマホやゲームで遊んでばかりいるので、困っています。



スマホやゲームの使い方について、子どもと一緒にルールを作っ
てはどうでしょうか。子ども自身がルールに納得していることが大切
です。ルールを守れていればほめてあげたり、守れていなければ毅然
とした態度で対応することも大切です。



頭ごなしに禁止するのではなく、「どうして子どもはそんなに夢中
になるのか？」と、子どもの立場で考えてみることも大切です。



スマホやゲームで遊ぶことがストレス発散になっているのかもしれ
ません。子どもの抱えているストレスに目を向け、スマホやゲーム以
外のストレス解消方法や上手なストレスとの付き合い方を一緒に探し
ていくことも一つの方法です。



最近、子どもが学校を行き渋るようになりました。



子どもの気持ちに耳を傾け気持ちを受け止めること、無理な登校促
しはせず保護者も焦らないようにすることが大切だと思います。保護
者自身が抱え込まずに、学校と相談し、学校内と家庭内での関わり方
について共有することも大切です。



具体的な理由は無くても「何となく行きたくない」という場合や、
漠然とした不安を抱えていることも考えられます。そういった場合、子
どもの様子を見て時々休ませてあげる必要があるかもしれません。



行き渋る原因を考える事も大切です。その原因に応じて、学校や子
どもアシストセンターなどの第三者に相談することで、改善策が見え
てくるかもしれません。一日中ではなくとも、子どもが少し頑張った
ら行けるような時間を、学校と協力して作って行く方法もあると思ひ
ます。

※学校など関係機関に対
して話を聞いたり、子ど
もの気持ちを伝えるなど
調査・調整活動を行う
こともできます。